

施設整備計画

敷地の位置と周辺環境



計画敷地は県営大濠公園南側(福岡市中央区)の県有地で、現在は福岡武道館及び日本庭園が所在

敷地の現況

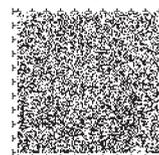


施設整備の基本方針

- 国内外の多くの人々が交流する拠点としてセントラルパーク構想の魅力をさらに高める施設整備を行う。
- 時代の変化に合わせて進化し続ける技術や新たな芸術表現に対応可能なフレキシブルな施設機能を備える。
- 誰もが安心して豊かな時間を過ごすことができる、環境にやさしいサステナブルな施設とする。
- 周辺の景観やまち並みとの調和を図りつつ、公園・日本庭園と一体となった展示空間として施設を整備する。

施設整備に必要な基本的性能

- 立地特性を考慮した整備
- 防災機能の確保
- 防火性能、防犯性能の確保
- 環境負荷の低減・消費エネルギーの低減
- 施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減
- あらゆる人々が快適に利用できるユニバーサルデザイン
- 県産材や県産品の活用



施設計画

- 敷地面積 約20,400㎡
- 延床面積 美術館本体 約14,000㎡程度
(地下駐車場を含む面積 約21,000㎡程度)
- 建築物の高さ 新県立美術館に必要な規模とランドマーク機能を確保しつつ、周辺の風致景観との調和に配慮。

機能別の諸室と面積

※現時点で想定される目安の面積

収集保存	2,300㎡
収蔵庫、一時保管庫、トラックヤード、荷解室、生物対策室等	
展示公開	3,800㎡
常設コレクション展示室、企画展示室、 県民ギャラリー(貸し展示室)、控室等	
調査研究	100㎡
研究室、資料室等	
教育普及 連携交流	600㎡
多目的ルーム、ワークショップ室、ボランティア室、キッズスペース等	
情報発信	350㎡
美術図書室、メディアスペース等	
快適な利用	3,450㎡
ミュージアムショップ、カフェ・レストラン、エントランスホール等	
管理運営	3,400㎡
館長室、事務室、会議室、電気・機械室、監視・警備室等	

全体コンセプト図



公園と街をつなぐ
動線づくり

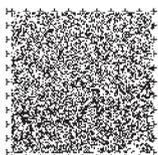
美術館との一体的
な再整備の検討

公園側への
眺望確保



設計上の配慮事項 (デザインコンセプト)

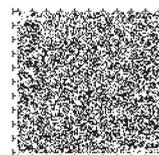
- 公園と街をつなぐパブリックスペース
- 公園や道路を行き交う人々への活動発信
- 公園北側から美術館への視認性の確保
- 公園・日本庭園への圧迫感を軽減するボリューム計画
- 公園や日本庭園・福岡城址への眺望への配慮
- 周辺建物からの眺望に配慮した屋上デザイン
- 南玄関口にふさわしい沿道景観を先導する外観デザイン
- 建物と外部の間に中間領域を形成する空間構成





周辺整備の考え方

- 誰もが安心して来館することができ、新県立美術館の誘客にもつながるアプローチ空間を検討する。
- セントラルパーク基本計画と連携し、芸術文化エリアの南玄関口にふさわしい空間として再整備する。
- 周辺市街地との連携により地域の魅力を発見する取組みを検討する。



管理運営計画

公の施設としてのあり方、美術館としての特性、「目指す姿とコンセプト」を踏まえて、管理運営を行います。

管理運営の基本方針

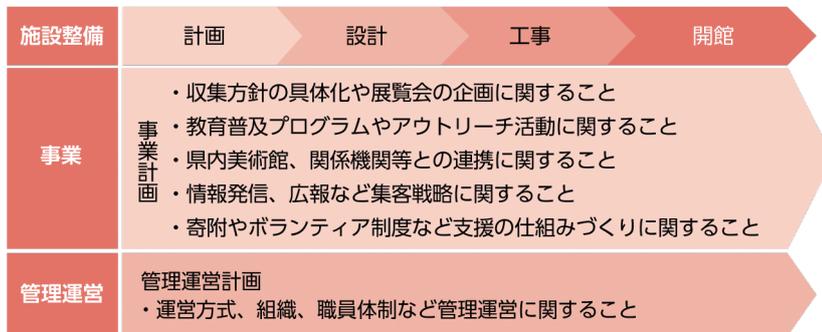
- 運営における公共性・透明性を確保し、安心安全で快適な美術活動空間を提供する。
- 美術資産を継承する使命を果たし、芸術の可能性を拡げ、挑戦する美術館であり続ける。
- 県民の美術館活動への参加を促し、地域活性化や観光など幅広い分野との取組みに向けて様々な主体との連携を進める。

組織体制のあり方

- 組織として企画広報部門、学芸部門、総務部門を設置
- 部門横断的なチーム編成など柔軟性・可変性を織り込んだ組織体制の検討
- リーダーシップとプロデューサー的な視点を持ち、国内外に発信力のある館長を配置
- 学芸部門におけるキュレーター(学芸員)、レジストラ(美術作品等履歴管理担当専門職員)、コンサーバター(保存・修復担当専門職員)、エデュケーター(教育担当専門職員)、アーキビスト、アート・ライブラリアン(美術司書)など専門人材の充実
- マーケティング・営業・広報戦略、情報発信、ICT等に精通する専門人材の活用
- 事業や管理運営に対する専門的・大局的な助言や、収集予定作品の中立的・客観的な評価のため、外部委員会を設置

今後のスケジュール

- 令和11(2029)年度の開館を目指して、具体的な準備を進め、推進体制を整える。
- 進捗状況について情報発信に努めるとともに、県民の声を聞く機会を設ける。



令和11
(2029)
年度開館

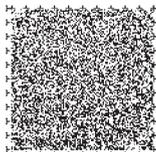
現県立美術館は天神地区のメリットを活かして、若手作家の交流やワークショップ、シンポジウムなどを行う施設としての活用が考えられるが、具体的な活用計画は今後検討する。

新福岡県立美術館基本計画策定委員会開催状況 第1回 令和2年7月21日/第2回 令和2年11月13日/
第3回 令和3年2月21日/第4回 令和3年5月29日/第5回 令和3年8月29日/第6回 令和3年11月11日

その他

基本計画の全文はホームページに掲載しています。

福岡県HP <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shinkenbi-sakutei13.html>



新福岡県立美術館基本計画 概要版 発行日 令和4年3月

編集 福岡県人づくり・県民生活部 文化振興課 新県立美術館建設室
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL 092-643-3346 FAX 092-643-3347
E-mail shinkenbi@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県行政資料

分類番号 JA	所属コード 5200205
登録年度 03	登録番号 0002